

- 1 教育事業名 「教員免許状更新講習」
～自然体験活動から子供達の生きる力を～
- 2 ねらい 自然体験活動の意義を理解し、活動に伴う安全管理の意識を高めるとともに学校における体験活動の指導法の工夫改善に資するなど、教員の資質向上を図る。
- 3 期 日 平成28年12月23日（金）～26日（月） 2泊3日
- 4 場 所 国立沖縄青少年交流の家
- 5 募集人数 50名
- 6 参加人数 24名
- 7 参加者内訳 幼稚園1名・小学校6名・中学校2名・高校9名・特別支援6名
(男性12名 女性12名) (県内16名 県外8名)
- 8 講師 平良朝治 氏 (沖縄県教育庁保健体育課 課長)
講義「生涯学習振興のために学校教育に期待すること」
平野貴也 氏 (名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科教授)
講義「体験活動の意義と学習指導要領」
北見靖直 氏 (国立青少年教育振興機構 教育事業部指導主幹)
講義「体験活動の安全確保と安全指導」
講義・実習「体験学習の指導法」「体験活動とフィードバック」
佐久田 悟 氏 (国立沖縄青少年交流の家 主任企画指導専門職)
実習「レクリエーションの基本と実技」
実習「体験学習の指導法」

9 実施プログラム

	9:00		10:00		11:30		12:00		13:00		15:00		17:00		19:00		21:00			
一 日 目	那覇市泊港 とまりん集合		フェリー とかしき		開 講 式		昼食		講義 「生涯学習振興のために 学校教育に期待すること」		講義 「体験活動の意 義と学習指導 要領」		夕 食 等		実習「体験活動 の指導法①」 レクリエーション の基本と実技					
	8:30 9:00				12:00		13:00		15:00		15:30		19:00							
二 日 目	朝 食	移 動	実習「体験活動の指導法③」 ～マリン活動～				昼食		講義 「体験学習の指導法②」 体験学習の安全確保と 安全指導		実習「体験活動の指 導法③」 ～野外炊事～		清 掃 移 動							
	9:00 9:15				11:15		12:00		13:00		14:00		16:00		17:10					
三 日 目	朝 食	清 掃	実習「体験活動の指導法④」 体験活動とフィードバック				グ ル ー プ 発 表 会		昼食		履修認定 試験		閉 講 式		フェリーとか しき		講義「体験活動の指導法②」 体験活動の安全確保と安全指導			

10 事業の様子



開講初日の講義



レクリエーション演習



スノーケル実習



火起こし実習

11 エピソード（参加者の声や観察より）

- 3日間の講習を通して、私がこれまでに実践し考えてきたことが間違っていなかったことを実感した。
- 「自己有用感」を引き出すための、教師のスキルの大切さを学びました。
- 素晴らしい事業でしたので、是非、後輩達にも、すすめたいと思います。
- 学ぶことの多い講習でした。職員のきめ細やかな配慮にも感謝いたします。
- 児童の立場や教師の立場、両方学ぶことが出来ました。
- すぐに、授業や実践に生かせる内容でとても良かったです。
- リスクマネジメントのあり方やフィードバックにおける自己肯定感の重要性など、実体験を通しての講習は、大変勉強になりました。
- 実践的で、現実的ですごく勉強になりました。危機意識も高まり、また、指導力の向上にも繋がりました。
- 渡嘉敷島の自然を生かした、とてもよい内容の講習でした。
- 情報交換会は、互いの交流を深めるのに、とてもよい企画でした。
- プログラムの進め方や運営がスムーズで良かったです。
- 講師のきめ細やかな指導で、多くの事を学ぶことが出来た。
- 様々な体験活動をとおして、多面的な考え方で生徒に指導していくことが大切であると実感した。

1 2 担当者所見

【成果】

本事業では、渡嘉敷島の自然を生かした様々な体験活動の指導法やそれに伴うリスクマネジメント、生涯学習振興についての講義など、受講生が学校現場ですぐに実践、活用できる内容を主体に、プログラム構成にも配慮しながら各講習を実施した。また、各講師の実践的できめ細やかな指導は、本事業のねらいを達成する上で大変重要な要素であった。受講生の感想にも、「実践的かつ、現実的で、すごく勉強になりました。」「すぐに授業実践に生かせる内容で良かったです。」など、多くの感謝の言葉が綴られていた。3日間の全講習を通して、安全管理に対する意識の向上及び野外炊事指導、レクリエーション指導、海洋研修指導をとおして、体験活動の指導法の工夫改善等、本事業のねらいを、十分に達成することが出来たと感じる。

【課題】

- ・台風接近により、日程延期を余儀なくされたが、予備日程が12月後半になった為、受講の取り消しがあった（当初の人数から約2分の1減）。次年度は、履修認定時期も踏まえた、延期日程調整について再検討が必要である。